



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



2P～6月定例会

6P～ここが聞きたい！4人の議員が一般質問

11P～委員会報告（総務厚生・経済文教）

No. 58
2021.7.31 発行



むかわ町議会
☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会
☎0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

第2回議会定例会

令和3年第2回議会定例会は、6月21・22日の2日間を会期とし、21日に開催しました。

町長行政報告4件、4議員による一般質問の他、報告2件、承認4件、同意27件、議案10件、意見書4件の審議を行った他、所管事務調査報告2件、閉会中の特定事件等調査申出6件がありました。

【報告】

◆令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書

繰越総額9億8038万9千円
 (特定財源9億3101万2千円・一般財源4937万7千円)

※主な事業

- 役場本庁舎多目的スペース整備事業 5548万2千円
- 新型コロナウイルス感染症対応事業 4000万円

● サテライトオフィス等環境整備事業 2050万円

● ム・ペット館感染症対策環境整備事業 740万2千円

● 農業担い手確保・経営強化支援事業 1175万円

● 漁業担い手住宅整備支援事業 2000万円

● 地元消費活性化事業(プレミアム商品券) 2097万4千円

● 橋梁補修事業 2130万5千円

● 防災対策事業 1568万9千円

● 小学校感染症対策環境整備事業 387万9千円

● 中学校感染症対策環境整備事業 258万6千円

● 林道災害復旧事業 1億4155万9千円

● このほか13事業

主な質疑

問 野田省一議員 相当数の空気清浄機を購入する目的は。ウイルス対策になるのですか。

答 ウイルス対策、除菌対策ができる装置です。

問 北村修議員 事業の進行状況と最終的な経理状況の報告はどのように行うのですか。

答 25事業すべて執行中です。執行率は92.2%です。この事業の決算は、令和3年度分になりますが、進捗状況については、何らかの形でお知らせしたいと考えます。

◆令和2年度上水道事業会計繰越明許費繰越計算書

● 田浦5線配水管移設工事 672万円

【承認・専決処分】

◆令和2年度一般会計補正予算 442万7千円を追加し、総額を121億715万5千円とします。

◆税条例等の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆介護保険条例の一部改正



暑いけど 頑張る！
(ひまわり保育所)

【同意】

◆農業委員会の委員27名の任命を同意しました。

指定方法・公募によらない
選定
指定期間・令和3年9月1日
日から令和8年8月31日までの5年間

【議案審議】

◆財産の処分

文京1丁目11番地の土地と建物を売却。

◆公の施設を指定管理者に指定

施設名・鶴川高等学校生徒寮（鶴川三気塾）（「鶴川三気塾」管理委員会委員長・平島道弘）
指定方法・公募によらない
選定
指定期間・令和3年9月1日から令和8年8月31日までの5年間

◆辺地にかかる公共施設の総合整備計画の策定

策定する辺地・穂別和泉

◆税条例の一部改正

①個人町民税関係

・扶養控除における国外居住親族の取扱いの見直しを踏まえた、個人住民税均等割及び所得割等の非課税限度額算定における扶養親族の見直しによる整備です。
（令和6年1月1日施行）

1番地）

・寄附金税額控除について、特定公益増進等に対する寄附金制度における寄附金の範囲の見直しによる整備です。
（令和4年1月1日施行）



沿道を華やかに

◆令和3年度一般会計補正予算

1億147万円を追加し
総額を91億2607万7千円とします。

が困難な世帯のための施設整備です。
花園2丁目の「国有財産・鶴川防災拠点合宿所」を無償で借り整備します。

●むかわっ子応援事業

70万円

休校や帰省自粛対応を強化されている町外の学生生活支援の第2弾です。

②新型コロナウイルス感染症クラスター対応職員慰労金支給支援事業
540万円

問 野田議員

町内の子ども達への支援も行う考えは。

感染症のクラスターが発生した介護福祉施設従事者52人と、穂別診療所医師2人への慰労金です。

答

今回は考えていません。

町が対象事業者へ支援金を交付し、事業者が支援金の配分調整を行い従事者へ支給します。

●新型コロナウイルス感染症対応事業

784万1千円

①新型コロナウイルス感染症自宅待機者支援施設確保・運営事業

244万1千円

問 大松紀美子議員

慰労金の支給を町が直接支援額を決め支給する方法もあると思いますが。

職員が不公平感を抱かない配分の協議が必要ですが。

感染症の濃厚接触者や、低リスク者の内、自宅療養が困難な世帯や、症状が軽

度な罹患者の内、自宅療養

答

勤務実態は施設側でなければわからないことから、

施設側で配分を決めること
としました。

●サテライトオフィス等環
境整備事業

755万7千円

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、都市部の働き方が見直される傾向にあることから、サテライトオフィスやリモートワーク、ワーケーションに対応する環境を整備し、地域の活性化や関係・関心人口の拡大を目的とします。

穂別地区（胆振東部森林管理署横）に整備。

問 野田議員

場所の設置の理由と管理は誰が行うのですか。

その後の活用の考えは。

答 場所は、まちなか再生検討委員会に諮り決定しました。

管理は基本的には町ですが、町民が管理するための

検討を進めています。

●自治活動促進事業

140万円

一般財団法人自治総合センターの助成事業を活用し、松風町内会のごみステーションを整備します。

問 大松紀美子議員

ごみステーションは設置後20年以上が経過し、他の地域のステーションもひどい状態です。

町として整備をすべきと考えますが。

答

今年も助成事業の案内があるので、自治会・町内会への周知を図ります。

●四季の館管理運営事務

944万1千円

令和2年度収益損失補填金です。（コロナ対策）

問 大松紀美子議員

緊急事態宣言中の四季の湯の利

用について、町民以外の利用の制限を充分行うなど、もつと感染対策を徹底すべきとの苦情がありました。

答

自主規制の中で、お願いベースを崩せないのが実態です。

強制的排除は困難ですが今後の対応については、果夢工房とも協議します。

●子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

522万3千円

低所得者の子育て世帯分です。（95人）

●農業基盤整備事業

次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業
819万円

農業基盤整備を積極的に取り組めるよう道と市町村が連携して令和3年度から7年度までの5年間、地元負担を軽減する対策です。



はだして農業体験

●私有林等整備促進事業

800万円

森林環境贈与税を活用し私有林を整備します。

問 佐藤守議員

周知はどのように。面積要件は。

答

森林組合の組合員等が対象です。5ヘクタール未満が対象です。

●商工業振興対策事業

913万6千円

プレミアム率を20%から30%へ拡大して実施します。

●鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業

1822万3千円

エゾシカによる農業被害の軽減目的です。補助対象捕獲頭数は2427頭です。

◆令和3年度国民健康保険特別会計補正予算

34万7千円を追加し、4億2939万6千円とします。

装置

1式

【意見書】

採択された意見書

◆令和3年度上水道事業会計補正予算

・米原地区排水管整備工事
出資金・2079万円を追加します。

●核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書
提出者 野田議員

●2021年度最低賃金改正等に関する意見書
提出者 北村議員

・簡易水道稲里地区排水管
布設工事費・586万円を追加します。

◆令和3年度下水道事業会計補正予算

農業集落排水事業費用626万7千円を追加します。

●新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める意見書
提出者 北村議員

【反対討論】

東議員 生活困窮者・学生への食糧支援制度は、欧米とは最初から制度設計の違いがあるので反対とします。

◆令和3年度病院事業会計補正予算

補正額は無く、資産取得の補正です。

・電子カルテシステム
1式
・糖尿病検査項目自動分析

大松議員 コロナ禍で生産者米価が引き下がっています。生産者農家を支援する

【賛成討論】

という意味でも、米危機を政府の力で改善して欲しいことを含めて賛成意見とします。
(賛成議員の起立多数で原案どおり可決)

●2022年度地方財政の充実・強化に関する意見書
提出者 野田議員



今年もきれいにできました (富内 涙ぐむ眼)

北海道町村議会議長会

自治功労者表彰受賞

町村議会議員として15年以上の永きにわたり、自治振興の発展に寄与・貢献されたとして、中島勲議員が表彰されました。
第2回定例会開会に先立ち、小坂議長より伝達されました。



むかわ町の ことが聞きたい

6月定例会では、4人の議員が6件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、7ページから10ページです。

7ページ

大松紀美子 議員

○タクシーチケットの交付で外出支援を

8ページ

野田省一 議員

○ワクチン接種は

○従事者に慰労の意を

9ページ

東 千吉 議員

○コロナ禍での安心・安全を

○穂別地区に複合施設を

10ページ

北村 修 議員

○迅速なワクチン接種と社会的検査の拡大を

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

タクシーチケットの交付で 外出支援を

調査・研究し対応につとめます

サービスの利用を申請するのは、それだけの理由があるからです。

安易に行政の支援を受けたいと町民は思っていますせん。

にもかかわらず申込者の内心を侵害する行為は、やりすぎではありませんか。

答 聞き取りはあくまでも利用条件の中身なので、利用者に対し、誤解の生じない、失礼のないよう、より丁寧な相談体制の徹底に努めます。

問 今年度の在宅サービスの事業予算は昨年度より28万2千円低くなっています。

町長執行方針で、外出しやすいサービスを提供しているのですから増やすべきでは。

答 入浴サービスの予算を減らしていますが、外出支援サービスの予算は増減していません。

を受けていました。

冬の期間だけでも、月に一度でもタクシーチケットで、自由に好きな時に外出をして頂く事があっても良いと考えますが。

答 第8期の高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定の時のアンケート調査でも、外出送迎システムを要望する回答が多くありました。調査研究し、この地域に適切な対応に努めます。

問 タクシーチケットの支給については以前から要望

問 町長は今年度執行方針の中で、外出支援サービス

事業について引き続き買い物や金融機関、生活に必要な手続きなど、外出しやすい環境づくりを支援すると述べています。

① 利用条件に家族等も出来ない方とありますが、その判断は誰がどのように行うのですか。

② 本人が利用申し込みをした後、家族等に対し行政側から、家族が送迎できないのかの問い合わせをすると言う事実がありますが、申込者の願いに反することと思いがちです。

③ 高齢者の方へ、タクシーチケットを交付する考えは、

答 ①②利用の希望があった場合、地域包括支援センター内や地域ケア会議で情報共有を行い、利用の可否を判断します。

できるだけ本人の希望に添えるよう詳しく聞き取りをしています。今後もより丁寧な説明を心がけます。

③ 移送体制づくりについて、さらに調査研究を進めます。

問 家族関係、家族状況もそれぞれです。

そういう中でも、町の



おおまつ きみこ
大松紀美子 議員

OHMATSU KIMIKO



ドキドキします

ワクチン接種は

おおむね予定どおり

問 ワクチンの接種の現状は。

答 6月18日現在、65歳以上の希望調査数は3025人、希望者は2518人の83%です。

問 町内施設入所者を含む1回目の接種率は84.5%です。

答 集団接種はおおむね予定どおり進んでいます。

問 ワクチン入荷の現状と今後の見通しは。

答 6月前半では、町の希望の分配量ではない状況です。

問 今後の配送は1か月先の計画しか示されていませんか。接種日程を確実に組み立てることが難しい状況ですが、自治体で希望に見合う



の だ しょういち 議員
野田 省一

NODA SHOUICHI

ワクチンの供給を国等に求めていきます。

問 65歳未満の集団接種について、これまでの経過を踏まえ、どのように実施しますか。

答 入荷ワクチンの予測から日程を設定し、6月中には決定し、接種券の配送を順次開始します。

問 予約はウェブ、LINEを活用し、各自で日時を予約する方式も考えています。基礎疾患のある方から先行し予約を受け、段階的に予約を開始することで、予約時の混雑を緩和します。

問 ワクチンの予約キャンセルでの余剰ワクチンの接種者の選考方法について事前公表が必要では。

答 余剰分は接種会場従事者、居宅介護事業所等で未接種の方に接種しています。現在余剰分はなく、事前公開して募集する状況ではありません。

問 65歳未満の接種の終了の見通しは。

答 町が要望している量の確保ができれば、今の段階では、9月末までには終了と考えています。

従事者に慰労の意を

問 町内の医療、介護従事者の皆さんは、感染リスクが高いクラスターが発生の中で、収束に向けてウイルスに立ち向かっていただいています。

答 クラスター収束時には、町民挙げて感謝の意を表すことが必要だと思います。

問 現段階では従事される方々への町独自の慰労金支給の支援で、その労に報いるものとして予算提案をしています。

問 町内の婦人団体等で感謝の意、慰労の意で差し入れ、ねぎらいの言葉をいただいています。大変喜ばしいことです。

答 慰労金のほかにも、感謝の意を表すことが必要では。収束後に、従事者、支援いただいている関係者の皆さんに、私からも直接お会いして、感謝の意として、お礼の言葉を、おかけします。



おおきくなーれ

コロナ禍での安心・安全を

事業者に対し、独自の助成事業を実施



今年も上出来！

穂別地区に複合施設を

交通弱者、買い物弱者への支援が 重点プロジェクトです

問 著しい人口減少における地域産業の対策、具体的には穂別地区における買い物弱者対策と地場産品等の販売PRを行う拠点整備について、来年早々、エコープ穂別店が閉店予定で

答 モール等の提案があった通り、地元商工業者の高齢化、投資の限界が現実的となってきた状況です。 穂川地区のぽぽんた市場的な施設を穂別地区に設置できませんか。

問 買い物難民等について、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

答 買い物難民等については、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

問 コロナ禍におけるワゴン接種及び円滑な経済活動のための継続的な支援について、感染症防止対策で効果的な対策を講じている事業所を紹介することを行政として進めてはどうか。

答 本部体制を敷き、随時会議を開いています。 町民参加の中で、価値の共有を図りながらまちづくりに生かしていきます。

問 事業者に対し、新北海道スタイルの取り組みなどに助成する独自事業を実施しています。

答 これは、地場産品を含めた農畜産物の拡販、PRの拠点です。穂別メロン、カシロメロン、長いも等、地元産品のPR、あるいは拡販に非常に厳しい点が出てきます。以前から「穂別を進化させる会」のショッピング

問 買い物難民等について、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

答 買い物難民等については、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

問 買い物難民等について、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

答 買い物難民等については、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

問 買い物難民等について、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

答 買い物難民等については、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

町内外の利用者が安心・安全を確保出来る体制を、スピード感をもってリーダーシップを取って頂きたいが。



あずま ちよし 議員
AZUMA CHIYOSHI

穂別地区に複合施設を
交通弱者、買い物弱者への支援が
重点プロジェクトです

買い物難民等について、バス、公共機関を利用して、穂川での買い物例ですが、現在のバススケジュールでは余裕のある買い物時間確保は難しく、高齢者が買い物袋両手にバス利用は非常に大変です。

迅速なワクチン接種と社会的検査の拡大を

PCR検査も含め国に要望します



きたむら おさむ
北村 修 議員
KITAMURA OSAMU

施設などの優先接種に学校教員、保育関係者、放課後子どもセンター関係者、介護従事者への考えは。

答 高齢者施設は優先としました。

居宅介護は町独自で施設関係者とともに実施していきます。

学校、児童福祉施設の職員は、65歳未満の接種前に検討し、夏休み中には終わるよう対応を考えていきます。

問 町の高齢者施設で感染された家族から、「せめて専門病院で治療ができれば」との言葉は、国の医療の情けなさを強く感じます。

そこで感染対策の第1は、ワクチンの迅速な接種です。医療関係者とともに、福祉

対策が必要です。

そのことが施設でのクラスター発生にかかわって教訓とすべきと考えますが。

答 クラスターの発生を受け、行政検査を拡充し介護福祉施設、学校などで進めています。

高齢者施設でのクラスター対応は、専門病棟が

ひつ迫で施設内で療養をしています。

保健所を中心に現地支援本部体制で日々の情報確認、診療所の力を借りて対応しています。

問 高齢者施設でコロナ感染をした人々が、病床が

ひつ迫しているなどで決められた専用病院にかかれな

い等は、基本的には国の政治の責任と思われまます。町として事態をどう考えられていますか。

答 指定された医療施設で療養、看護が原則と承知しています。

町としてまずはクラスター終息に努め、その上で国等に意見を反映していきます。

飲食店などへの補償を急ぐこと

問 自粛要請などで影響が大きい飲食店等への補償対応が急がれます。

町で交付金の繰り越し活用した事業も検討しているが、スピード感をもって対応すべきでは。

答 本日からすぐに受付を開始をします。

最大の感染防止対策は頻回な検査

問 PCR検査で無症状者を探し出すことが大事です。施設関連でクラスターが発生の間に2度の実施では足りません。頻回に実施し早期発見に取り組むべきでは。

答 まずは市中感染させない対策に努め、国等に訴えていきます。



委員会報告

総務厚生常任委員会

コロナの早い終息を！

【調査日】令和3年4月27日

所管課より次の調査項目の説明を受け質疑応答の後、意見を取りまとめました。

新型コロナウイルス感染症 防止対策の現状について

新型コロナウイルス感染症

防止対策の現状について、ワクチン接種体制及び事業者への支給金に対する実施状況に関して担当課より説明を受け、質疑応答し、委員間で意見交換し、委員会としての意見を取りまとめ

○主な聴取内容

○新型コロナウイルスワクチン接種について

●背景・目的
死亡者や重症者の抑制

●接種方法
ファイザー社製「コミナティ」、3週間の間隔を空け、一人2回

●方法

集団接種（本町に住所を有する者とし、町外に長期滞在でやむを得ない事情がある場合は、例外として町外接種）

●対象者及び接種順位等

対象者16歳以上の町民（4月27日時点）

接種期間・令和3年2月17日から令和4年2月28日まで

対象者 開始目安対象者数
①医療従事者等 4月19日から139人
②介護福祉施設 5月10日から346人
③集団接種（65歳以上） 5月20日から3159人
④集団接種（65歳未満） 7月以降から3802人

●その他

本人同意による任意接種
接種費用は無料



ワクチン接種を待っています

○新型コロナウイルス感染症対策事業者への支給金に対する実施状況について

5事業者へ支給された医療福祉介護感染対策強化支援金の活用方法として、各事業所により違いは見受けられるが、衛生用品（グローブ、ガウン、マスク、アルコール消毒液など）、感染予防物品（アクリル板など）、職員のPCR検査としての活用とされた。

また、PCR検査についても各事業所により違いは見受けられるが、各事業所における体制等の説明を受けた。

○主な質疑と回答

問 医療従事者は先行接種できたのか。また、歯医者 は先行接種にならないのか。

答 ワクチンの数は道の調 整で病院職員数での配布と なり、歯医者、消防関係者 は今回先行接種はできてい ない。

問 接種希望調査の未返信 者への対応に工夫が必要で は。

答 未返信者には接種を希 望しない方、他の集団接種 を希望する方など色々な方 がいる。

対応の工夫は、問合せ文 書も同封しており、ケアマ ネジャーからも説明をする 予定である。

問 65歳未満の基礎疾患の 有無はどのように確認する のか。

答 基礎疾患を持っている ことは把握できないので、 基礎疾患がある方は、ご自 身の判断で早めに申し込む 方法となる。

答 65歳未満は接種希望調 査をせずに日程案内を発送 し、ご自身の都合で、電話 又はWEB予約となる。 接種予約の周知を徹底し、 土・日の接種日を設けるこ とを考えている。



ライオンズクラブの奉仕活動

問 65歳未満の接種予約方 法が65歳以上と異なるがど のような方法となるのか。 また、接種の周知方法はど のように考えているのか。

問 集団接種で、保健師、 看護師など十分な人材は確 保できるのか。

答 保健師、看護師、事務 員を臨時職員として採用す ることで対応する。

問 65歳以上で自力で会場 に行けない方の対応はどの ように。

答 穂別地区はバスを運行 する。また、外出支援サー ビス登録者は社会福祉協議 会と相談し対応する。

問 4月26日から一週間の 間にワクチンが1箱950 人分入る分で、先行接種者 の人数で一杯になるか。

答 一杯にならないが、計 画段階でワクチンの数が判 明できなく、接種体制の問 題もあり、急な準備も整わ ないので今回の日程となっ た。

問 数に余裕があるのであ れば、接種範囲を広げて接 種できないのか。

答 市町村の判断での接種 も可能となったので、介護 従事者、歯科、消防関係者 など苦肉の策で65歳以上の 接種時期に含めて対応する ことになった。

- ◎主な意見
- ① 接種アンケートの未返 信者への対応を十分に図 るように。
 - ② 接種会場困難者が出な いような十分な対応をと ること。

○以上、本件は更なる調 査が必要とされ、調査継 続としました。

委員会報告

経済文教常任委員会

農・林・漁業に
支援を!!

【調査日】令和3年5月17日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

新型コロナウイルス感染症 による影響と対策について

コロナ禍のもと、影響と対策について、農業・林業・水産業の取り組みを調査しました。

○主な聴取内容

●農業については、当初のコロナ感染が広がる中、花きの落ち込み、肉牛の消費減退となったが、町の農産物全体での販売高は維持できている。

しかし、消費の落ち込みで大きい米生産など、次年度に大きな課題となりそうである。

対策として

- ①町独自で交付金を活用した、花き農家への地元産業経営持続化支援
- ②エゾシカ捕獲技術実証事業などの実施

③国等の緊急支援で活用された事業は

- ・高収益作物次期作支援 144戸
- ・経営継続補助金179戸
- ・持続化給付金76戸
- ・家賃支援給付金88戸などである。



順調に進む牧草収穫

●林業は胆振東部地震の影響もある中、輸入材の減少、国産材への需要が高まりながら、コロナ禍で原木調達が厳しく製材事業へ影響している。

また、木材受注の減少があり、関係労働者の雇用体制が懸念されている。

新型コロナウイルス対策事業として、製材工場での生産減少の緩和対策と雇用維持及び販路拡大支援を含め、町民向け用の木製ベンチ、感染対策防止用のパーティション設備品などの製品づくりと販路拡大に支援が行われた。

●漁業については漁獲量の減少、魚価安傾向にコロナでの飲食業等の自粛が重なり、いつそうの厳しい事態となっている。

令和2年度は、漁獲量で増加したが、厚真地域でのホタテ漁（自然貝）があったもので、カレイ漁などは単価が低迷し、全体としては厳しい事態となっている。

- 対策として水産業支援事業が行われ、
- ・出荷資材支援27件
 - ・インターネット販売支援 291万円
 - ・道外等直売支援 850万円
 - ・水産物単価支援事業としてホッキ貝支援44件、850万円等が実施された。

○主な質疑と回答

問 水稻に関して価格の下落。食料米が安価になる懸念があるが。

答 主食米等は国から下落の予想が示されている。加工用米も下落が懸念される。

問 メロンも輸送コストがかかるが、多品目も含めて今後の具体的な対策は。

答 令和3年度は不透明な状況である。必要なものは都度対策を検討していきたい。

問 輸入材の高騰及び輸入量の減少理由は。

答 コロナ禍により流通関係で船舶輸送が減少している。輸入量の減少により入札単価が高騰している。

問 海外でのウッドデッキ需要で輸入材が減少し、国産材の需要が高まるのでは。

答 建築材を注視する必要があるが、建築材に関してトドマツの調達をする動きがある。原木の入手が可能となれば価格の高騰も抑えられる。

問 魚佃安と合わせてコロナ禍で支援が行われたが漁業政策全般での対策が必要では。

答 魚佃安はここ数年続いており、ホッキ貝も一昨年から単価が下落している。魚箱等の出荷資材購入経費や作業施設等整備支援を行ってきた。

問 ホタテ稚魚の放流に対して支援が行われたが水揚げ後の支援も必要では。

答 2〜3年で漁獲可能となるが、2〜3年後は漁獲に伴う収益の活用による取り組みも想定している。

◎主な意見
①令和3年度についても、コロナ対策について早めの対応を行ってほしい。

○コロナ禍での更なる調査が必要とされ、継続調査としました。



甘くて最高

議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

表紙の写真



穂別小学校6年生、最後の運動会